

全国数学教育学会

第31回 研究発表会 プログラム

平成22年1月23日(土)~24日(日)

会場：大分大学教育福祉科学部

* 1件の研究発表の時間は、25分(研究発表15分、質疑応答10分)です

23日(土)	A会場(200号)	B会場(300号)	C会場(303号)	D会場(304号)
13:30~13:55	A-1 松尾温子(広島大学大学院生) 学校数学における無限概念の形成過程に関する研究—無限概念の発達の様相に関する調査結果の考察—	B-1 細川伸子(新潟大学大学院生) 数学教育における価値に関する基礎的研究	C-1 廣瀬友樹(愛媛大学大学院生) 算数・数学における活動理論に基づいた学習展開に関する研究(1)	D-1 岡田和也(兵庫教育大学大学院生) 数学の学習指導における教師のTelling(「喋り」)に関する考察
14:00~14:25	A-2 岡崎正和(岡山大学), 影山和也(愛知教育大学), 岩崎秀樹(広島大学), 和田信哉(新潟大学) 図形における動的な見方の具体化: 図形におけるイメージ図式の構造化を視野に入れて	B-2 下村哲(広島大学大学院教育学研究科), 伊藤雅明(広島大学大学院工学研究科), 平岡賢治(長崎大学教育学部) コンピュータを活用した数学的モデリング(Ⅲ) —ラプラス方程式を教材として—	C-2 赤松結美(愛媛大学教育学部付属中学校), 吉本浩司(愛媛大学教育学部付属中学校), 河村康之(愛媛大学教育学部) 数学的な知識・技能を活用する力を育てる指導の在り方 —学習過程を振り返る中で「活用のコツ」を表現させる指導の工夫—	D-2 岩知道秀樹(広島大学大学院生) 本質的学習場を用いた数学科授業の開発研究 —授業実践の分析—
14:25~14:35	休 憩			
14:35~15:00	A-3 大滝孝治(広島大学大学院生) 算数・数学学習におけるミスコンセプションに関する一考察	B-3 杉浦健吾(兵庫教育大学大学院生) 中学校の図形の証明指導におけるproving(「証明活動」)に関する考察	C-3 伊達文治(上越教育大学) 数学教育内容の文化的価値に関する研究—日本小教文化圏における量概念の受容—	D-3 青木徹(埼玉大学大学院生) 算数・数学教育における集団としての学習に関する基礎的考察
15:05~15:30	A-4 齋藤昇(鳴門教育大学) 小学校教員の算数授業における創造性指導に関する研究	B-4 吉田明史(奈良教育大学教職大学院) 「わかる数学の授業」の構築 ~教員の意識調査の分析(2)~	C-4 山田耕世(新潟大学大学院生) 子どもが見通しをもつための算数の授業構成の研究 —表現様式の変換及びScaffoldingの観点から—	D-4 吉村直道(愛媛大学教育学部) 学習者たちだけによる協力的問題解決過程の分析(2)
15:30~15:40	移 動			
15:40~16:50	E会場(100号)			
18:30~20:30	開会行事・総会 全体会議旨説明 学会賞・学会奨励賞 授与式・記念講演 懇親会 会場 トキハ会館5階(ローズの間)			

24日(日)	A会場(200号)	B会場(300号)	C会場(303号)	D会場(304号)
9:00~9:25	A-5 早田透(鳥取大学大学院生) 一般化をはかる数学学習を捉える基本的枠組みの構築 —Bethの数学的思考の相と、Polyaの一般化に注目して—	B-5 佐藤学(大阪教育大学附属池田小学校) 算数の学習規範の育成に関する研究	C-5 住友祐子(岡山大学大学院生) 数学授業における教授学的契約の成立過程に関する研究	D-5 高井吾朗(広島大学大学院生) 数学的問題解決授業における個人及び集団的観点をを用いた指導の研究(Ⅱ)
9:30~9:55	A-6 杉山佳彦(北海道教育大学釧路校) 数概念の構成について —正・負の数—	B-6 芝野雄大(奈良教育大学大学院生) 高校数学における生徒の自律的な数学学習指導に関する研究 —「自律性」と「有能感」の関係について—	C-6 木村恵子(広島大学大学院生) RME理論に基づく算数科学習指導の一考察 —第4学年「わり算」の単元を例に—	D-6 秋田美代(鳴門教育大学), 齋藤昇(鳴門教育大学) 教員養成大学学生の算数・数学の授業実践力向上に関する研究 —教材分析力, 学習指導案作成力, 模擬授業実践力の関係を中心にして—
10:00~10:25	A-7 二宮裕之(埼玉大学教育学部) カナダの教科書調査から	B-7 渡辺信(東海大学) 生涯学習の視点から数学教育を観る	C-7 伏見真吾(奈良教育大学大学院生) 作業的・体験的な活動を活かした算数科の学習指導の研究	D-7 杉野本勇氣(広島大学大学院生) 数学観が教授・学習に与える影響についての一考察
10:25~10:40	休憩・移動			
10:40~12:10	全体会 『数学教育学研究の課題と連携』			
	A. 数学教育学研究と授業実践 (進行: 飯田慎司(福岡教育大学))	B. 数学教育学研究と教育課程 (進行: 溝口達也(鳥取大学))	C. 数学教育学研究のアイデンティティと学際性 (進行: 植田敦三(広島大学))	
12:10~13:40	昼休憩			
13:40~14:05	A-8 真野祐輔(広島大学大学院生) 数学学習における概念変容の二重プロセスについて: その理論的枠組みの検討	B-8 村上裕二郎(埼玉大学大学院生) 数学的リテラシー育成を目指す授業実践の検討	C-8 渋谷渚(広島大学大学院生) 本質的学習環境(SLE)に基づく授業開発研究(3) —ザンビア基礎学校における第5学年生徒が行った「数の石垣」の評価—	D-8 西川充(元福岡教育大学) 一組の三角定規: 「ある眺め方」によるすべての図の考察
14:10~14:35	A-9 木根主税(鹿児島女子短期大学) 数学教師の省察に関する研究の動向と課題 —省察概念の定義や概念枠組みに注目して—	B-9 阿部好貴(広島大学大学院生) 数学的リテラシー育成のためのカリキュラム構成原理の構築	C-9 渡邊耕二(広島大学大学院生) PISA調査結果の二次分析によるエクアドル算数・数学教育の特徴の考察	D-9 室山麻実(岡山大学大学院生) 数学学習における関数センスに関する研究(Ⅰ) —関数センスの必要性について—
14:35~14:45	移動			
14:45~15:00	閉会行事(E会場(100号))			